

平成 17 年度
紋別市における景気動向調査
＜第Ⅲ四半期＞

報 告 書

紋 別 商 工 会 議 所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 18 年 1 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 17 年 10 月～12 月期の実績および平成 18 年 1 月～3 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業＋食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業＋諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業＋食品業部会	30 社	23 社	76.7%
水産業部会	30 社	21 社	70.0%
機械工業部会	30 社	26 社	86.7%
建設業部会	30 社	24 社	80.0%
観光・サービス業＋諸業部会	30 社	23 社	76.7%
合 計	150 社	117 件	78.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

—依然低水準ながらも業況は緩やかに改善—

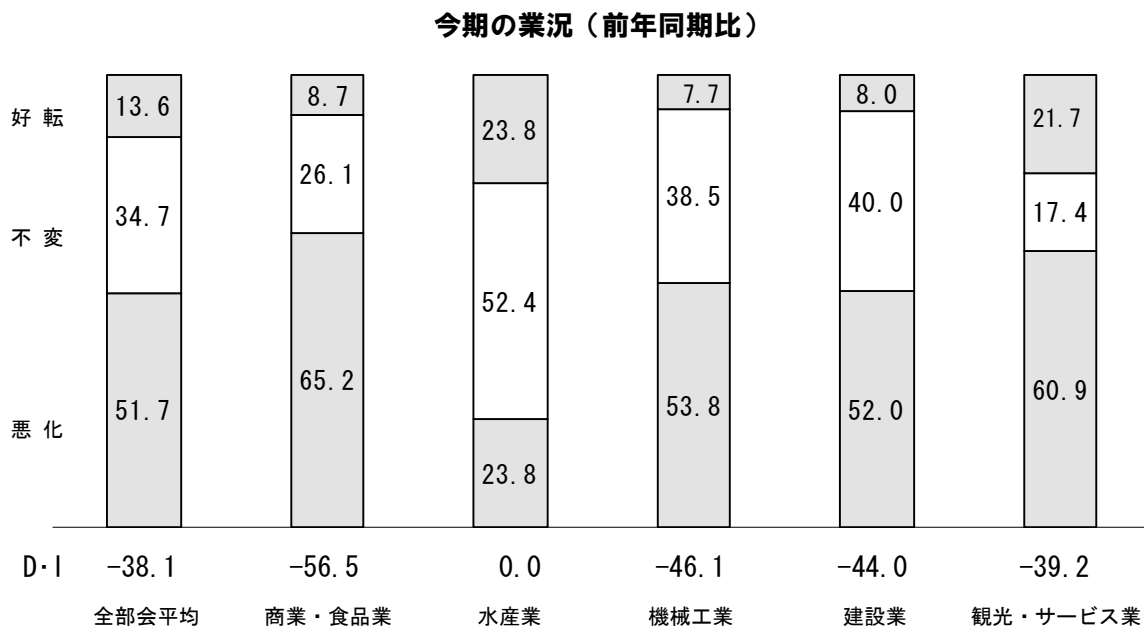
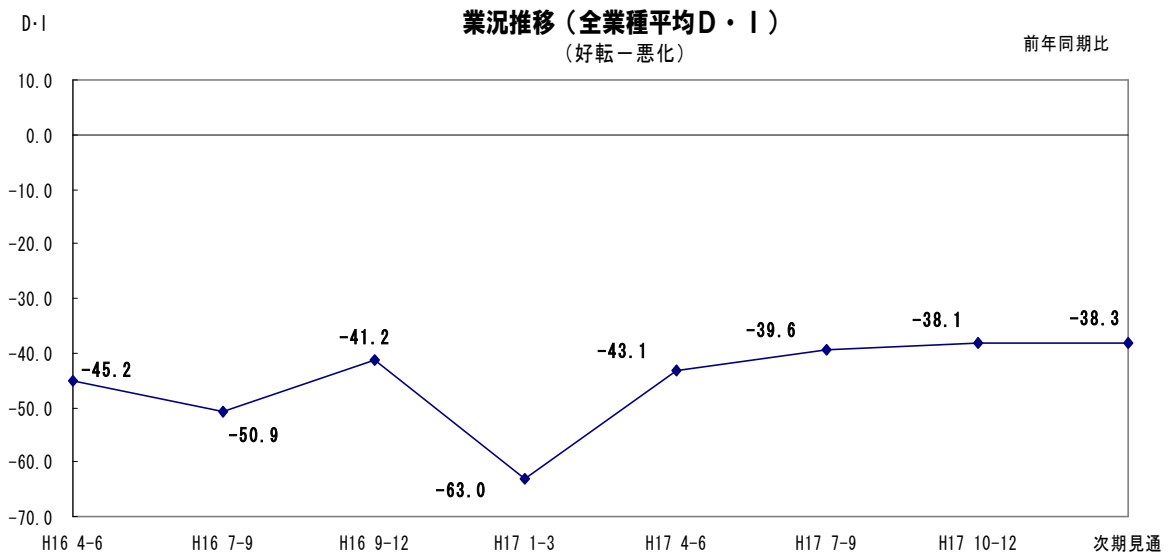
1. 全体の動き(業況)

本調査による今期(平成17年10月～12月)の業況判断DI値は、全業種平均で前年同期比では△38.1と、前回調査時の△39.6より1.5ポイント、3期連続でマイナス幅を縮小しました。しかしながら依然低い水準で推移しており、その縮小幅も緩やかなものとなっています。

業種別業況判断DI値では、前年同期比で商業・食品業[前期△30.0→今期△56.5]、水産業[前期△17.4→今期0.0]、機械工業[前期△71.4→今期△46.1]、建設業[前期△30.0→今期△44.0]、観光・サービス・諸業[前期△52.9→今期△39.2]となりました。

全般的に厳しい中において、唯一水産業は業況判断DI値が0.0、売上DI値は23.8とプラスを示すなど、ホタテ漁やサケ定置網漁が好調だったことに支えられて業況が改善していることが伺えます。

来期(平成18年1月～3月)については、厳冬期という季節要因にもかかわらず、今期と比べて業況判断DIが0.2、売上DIが0.1ポイントの低下予測となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなっています。



経営上の問題点としては、依然として景気の低迷による売上の不振を訴える声が全業種で大きなウェイトを占めていますが、それに加えて、全業種において石油製品の値上がりによる諸経費負担増が大きなウェイトを占めてきています。

設備投資については、先行きの不透明感からか7割以上の企業が「実施予定なし」との返答を寄せています。

■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 56.5$ （前期 $\Delta 30.0$ 、来期見通し $\Delta 39.2$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、2期連続のマイナス縮小から一転、26.5ポイントマイナス幅を拡大してしまいました。期待された年末商戦が予想ほど伸びず、依然売上の不振を訴える声が目立っています。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・光熱費増大（灯油）。街の空洞化が更に進行していると思う。早急に対策を打って欲しい。地主・家主との仲介に努力し、格安料金で空き店舗問題を早急に解消して欲しい。（小売）
- ・駐車場（中心商店街）の不足。（小売）
- ・ライバル店の閉店により業況が好転した。（小売）
- ・売上単価の下落。（小売）
- ・北海道の景気は大変厳しく、当紋別地方にあっても同じである。我が業界だけでなく物販業は今年中には好転しないであろう。ただ、地場産業の発展に期待をしたい。（小売）
- ・大型店の出現により客足を確保することが難しくなった。（製造小売）

【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）0.0（前期 $\Delta 17.4$ 、来期見通し $\Delta 23.8$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期より17.4ポイントマイナス幅を縮小し全業種で唯一0.0となり、さらに売上DIは23.8ポイントとプラスへ転じました。ホタテ漁やサケ定置網漁が好調だったことに加え、魚介類の輸入額が過去最高となるなど、基幹産業として市内景気の牽引役が期待されます。

《業界の問題点等》

- ・大規模な設備（施設）投資をする際に、サポート・アドバイス等専門的に詳しく行っている機関がない。公的な助成金（設備投資における補助）に対する一般事業者の知識が欠如している。（水産加工）
- ・一次加工主体から二次・三次加工形態に少しずつ変化をしていく努力が益々高まってくる。紋別の水産加工業界は5月～11月点は稼働できるが、それ以降の仕事を考えていく、また生き延びていくにはどうしてもその問題を少しでも考えていく必要がある。それには物づくりも重要であるが施設の改善また、意識の改革も伴うところである。同時にお金も…（水産加工）
- ・①石油製品の値上がりによるコストの増大。特に灯油・重油の値上げは冬期間の収益を直撃する。②不景気が長引けば人材の流出も激しくなる。景気がよくなり業務を拡大しようとする時に、若い優秀な労働力が不足すると思う。優秀な人材の流出を防ぐあるいは戻すためのシステムを行政に期待します。（水産加工）

【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 46.1$ （前期 $\Delta 71.4$ 、来期見通し $\Delta 39.1$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期より25.3ポイント大幅に改善しました。売上DIも43.4ポイント大幅に改善しており、全般的に厳しい中であって、季節的な要因も含んで一部回復傾向の企業が見受けられます。次期見通しの業況判断・売上の両DIとも $\Delta 39.1$ となり、

今期より若干回復するとなっています。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える企業が多い。

《業界の問題点等》

- ・①人材育成（ハイレベル技術者を必要とする） ②取引先の原料不足のため設備投資の見通しがつかない。（機械修理）
- ・人口の減少につき売上不振です。（車両販売）
- ・当社は船舶電装業営んでいるので、1月～3月は冬期間オホーツク海では船も休業に入るので我々も今頃から今年に限らずほとんど仕事はない状態です。新しい機器を入れる船もない状態で今年度は修理のみで売上はさっぱり上がらない年でした。（電気修理）
- ・時期の売上の見通しができず、計画が立たない。（鉄工）
- ・若手技術者の育成。（鉄工）
- ・設備投資の実施予定はあるが先延ばし状態が続いている。調査報告書が届いてもだからどうするって感じが。会議所は何をしてくれる。（車両販売）
- ・①酪農家の牛乳（量）生産調整 ②肉の自由化（機械販売）

【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△44.0（前期△30.0、来期見通し△36.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は2期連続で減少し前期より14.0ポイント悪化しました。前々期には△10.0と回復基調が見られていたが、季節的要因からか後退した感があります。来期は今期よりも若干上回るとの見通し。

経営上の問題点として、他の業種と比較し「同業者間の競争」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・公共工事の減少（建設）
- ・設計労務単価が下降するのに当社の労務単価をスライドして下げられない。燃料代の高騰で大変です。（土木）
- ・公共事業の激減が業界すべてに波及している。（建設）
- ・工事量がかなりダウンしているのが現実ですが、一部の業者のみ良い思いをするのではなく助け合いの精神が大切かと思えます。（建設）

【観光・サービス部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△39.2（前期△52.9、来期見通し△52.2）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期より13.7ポイントマイナス幅を縮小し、3期連続で好転してはいますが、業況は依然厳しい状況で推移しています。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える企業が多く、人口の減少が経営に影響を与えているとの声が多く寄せられています。

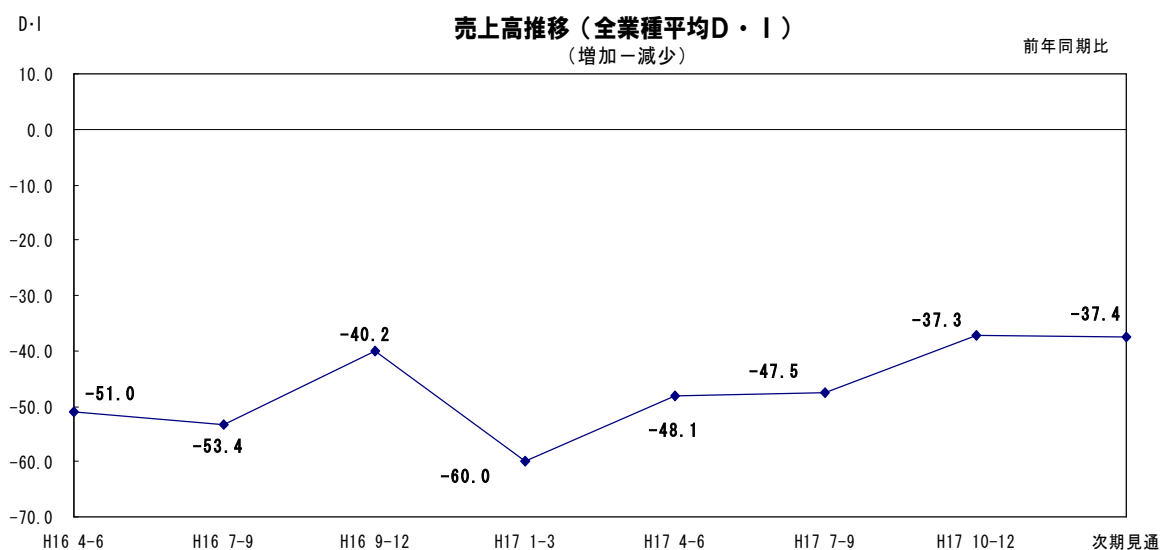
《業界の問題点等》

- ・人材不足により去年から営業時間を見直した。閉店時間午前2時から0時（一定していない）。（飲食店）
- ・はまなす通りの客足減少、とにかく人の通りが少ない。（飲食店）
- ・仕入高（飲食店）
- ・好要素なし（理容）
- ・売上減少と経費増なのに値上げもできず様子見です。（理容）
- ・除排雪費増（飲食店）
- ・早く流氷が接岸して道内外からの観光客様がたくさん紋別に来ることに期待！（飲食店）
- ・燃料の高騰により経費の増大。（運送）

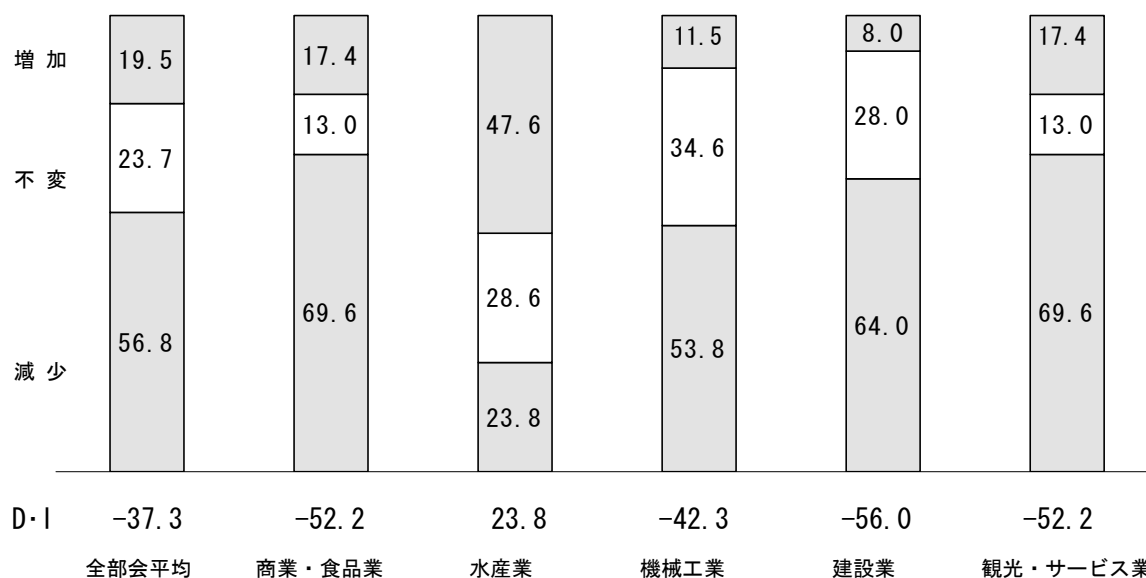
2. 今期の業況

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成16年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

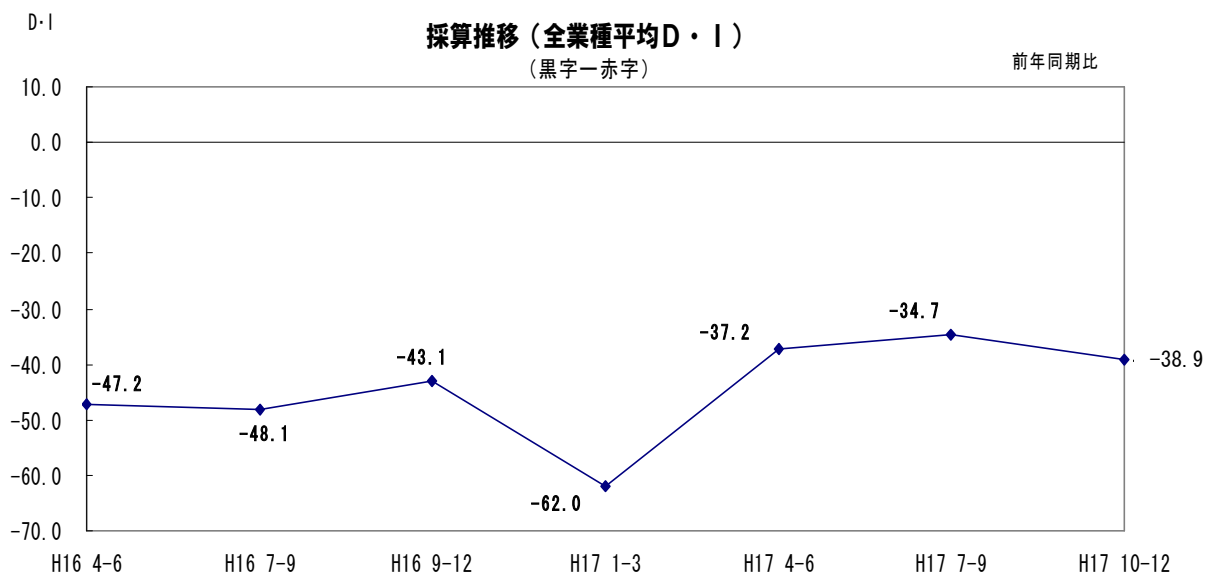


全業種平均でDI値△37.3〔前回調査時（平成17年7～9月期△47.5）より10.2ポイントマイナス幅を縮小 水産は唯一プラス表示〕

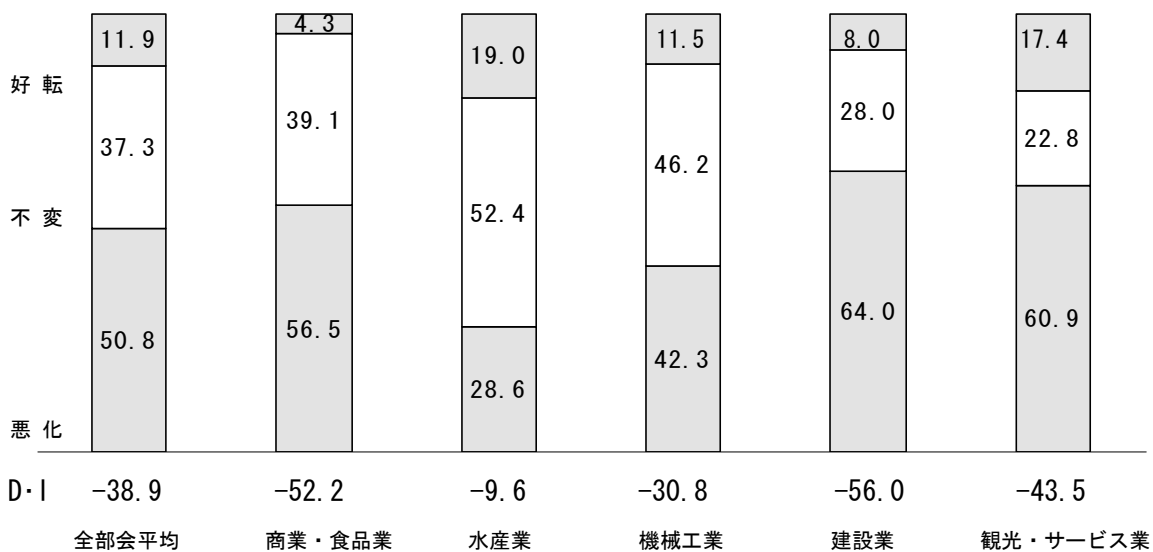
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△35.0→△52.2〕、水産業〔前回0.0→23.8〕
機械工業〔前回△85.7→△42.3〕、建設業〔前回△45.0→△56.0〕
観光・サービス業〔前回△82.4→△52.2〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成16年10月～12月期の水準と比較した今期の採算水準）



採算推移（今期の水準）

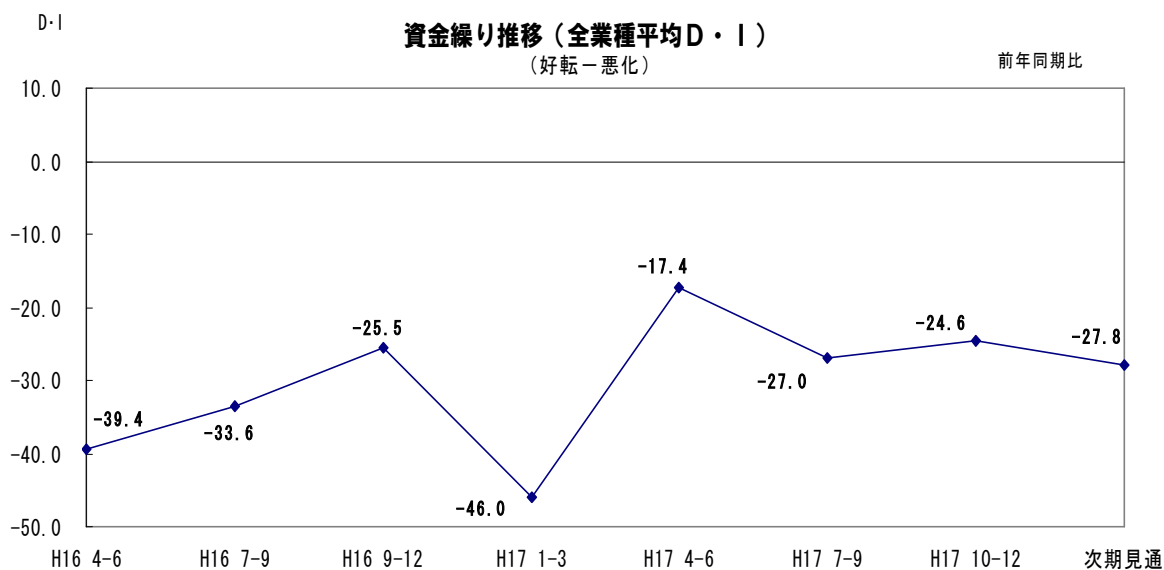


全業種平均でDI値△38.9〔前回調査時（平成17年7～9月期△34.7）より4.2ポイントマイナス幅を拡大〕

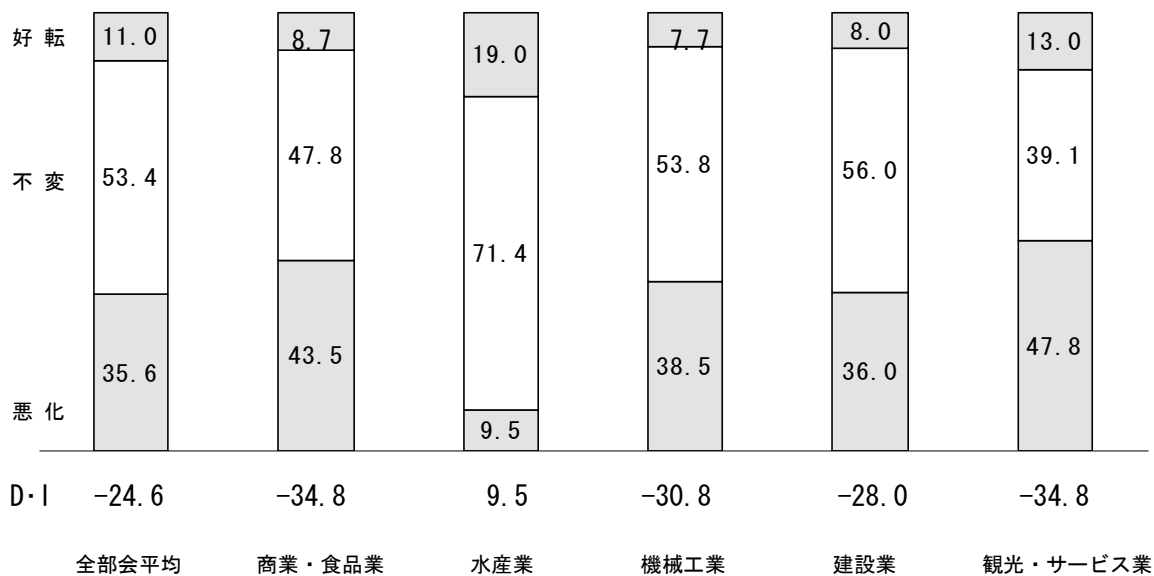
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△20.0→△52.2〕、水産業〔前回△17.4→△9.6〕
機械工業〔前回△57.1→△30.8〕、建設業〔前回△40.0→△56.0〕
観光・サービス業〔前回△41.2→△43.5〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成16年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



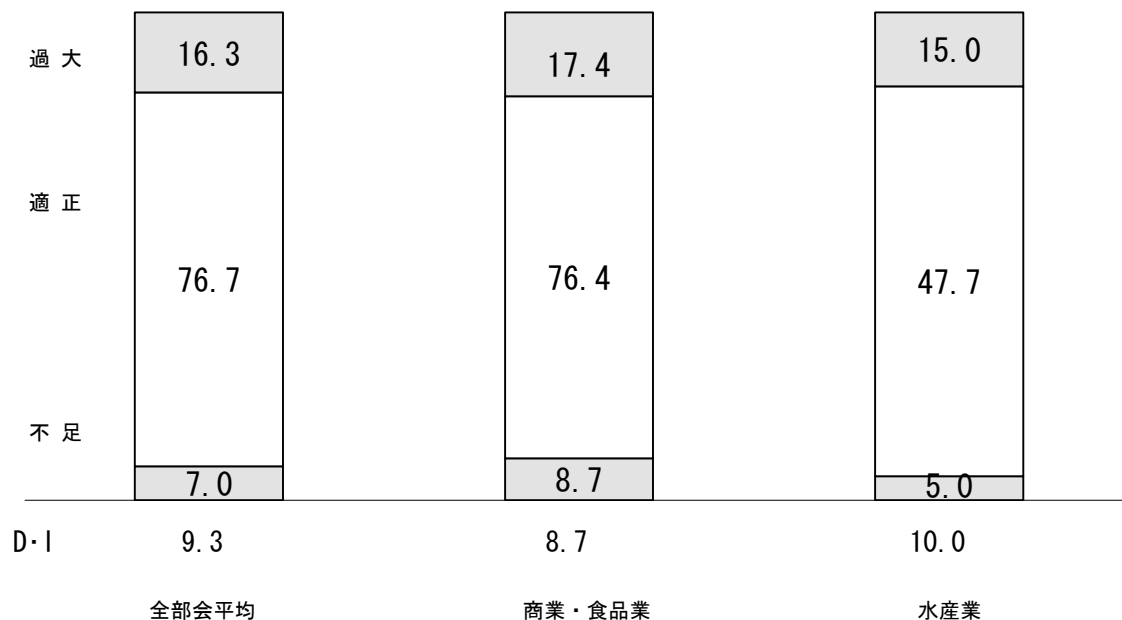
全業種平均でDI値△24.6〔前回調査時（平成17年7～9月期△27.0）より2.4ポイントマイナス幅を縮小 水産は唯一プラス表示〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△26.3→△34.8〕、水産業〔前回△8.7→9.5〕
機械工業〔前回△52.4→△30.8〕、建設業〔前回△25.0→△28.0〕
観光・サービス業〔前回△23.5→△34.8〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 16 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



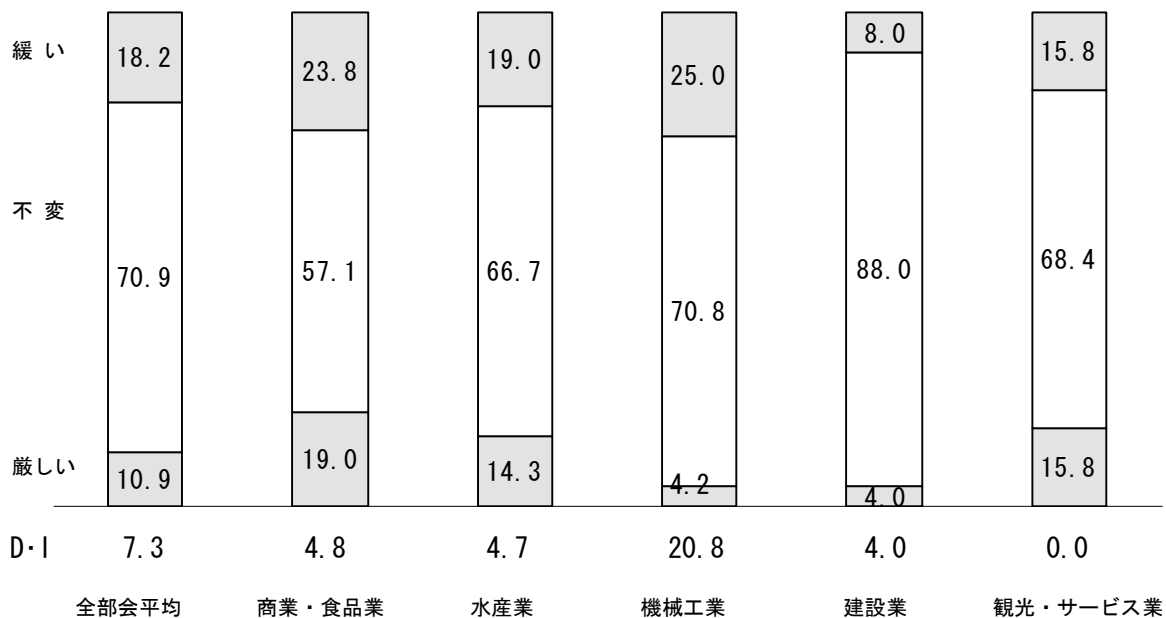
全業種平均でDI値9.3〔前回調査時（平成17年7～9月期△19.5）より28.8ポイント過大〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回0.0→8.7〕、水産業〔前回△21.7→10.0〕

(5) 今期の金融機関の貸出状況

【前年同期比】（平成16年10月～12月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

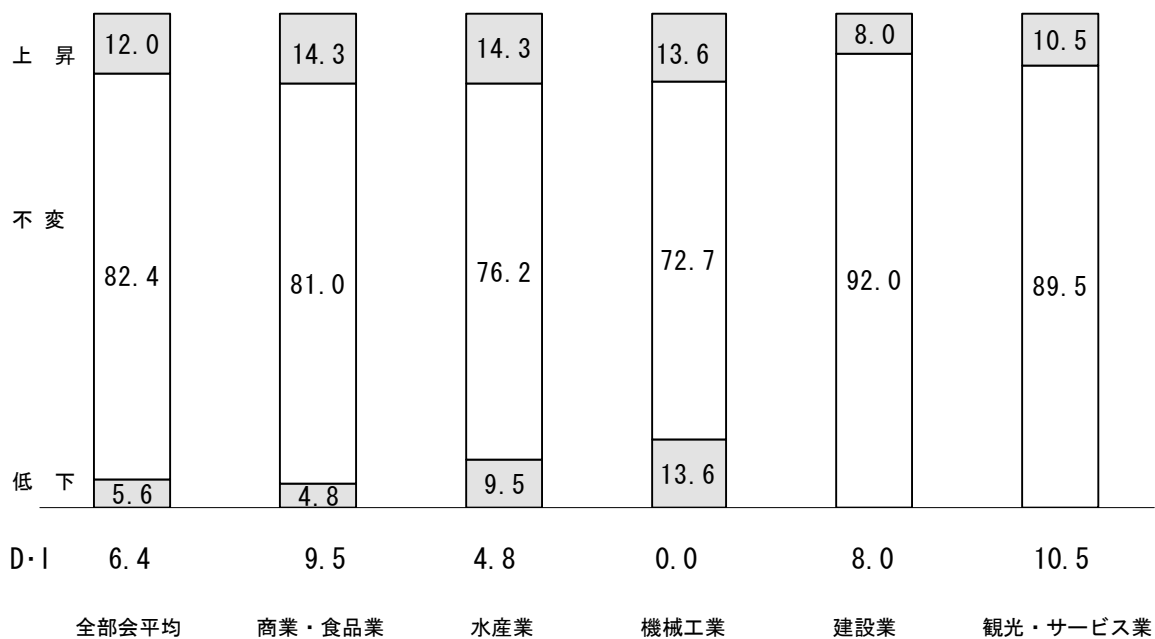
今期の金融機関の貸出姿勢



(6) 今期の借入金の金利水準

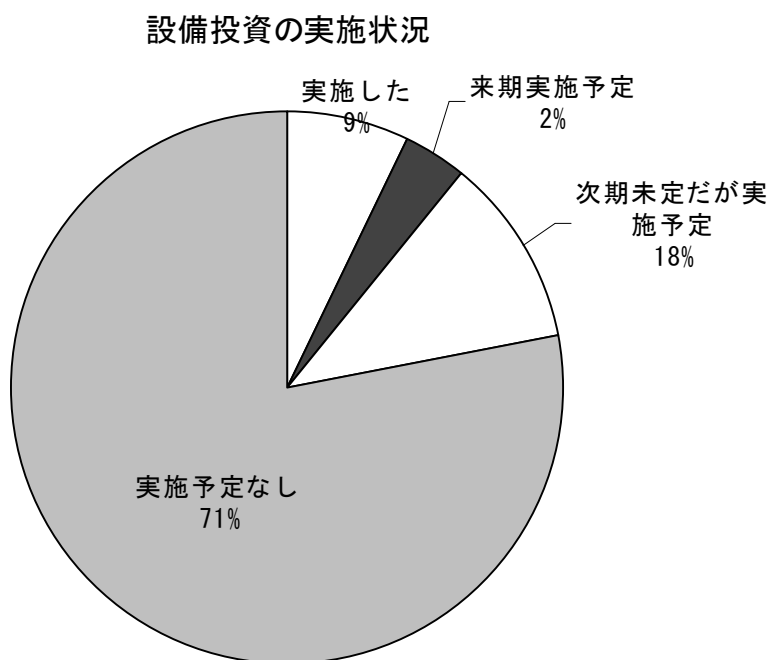
【前年同期比】（平成16年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

今期の借入金の金利水準

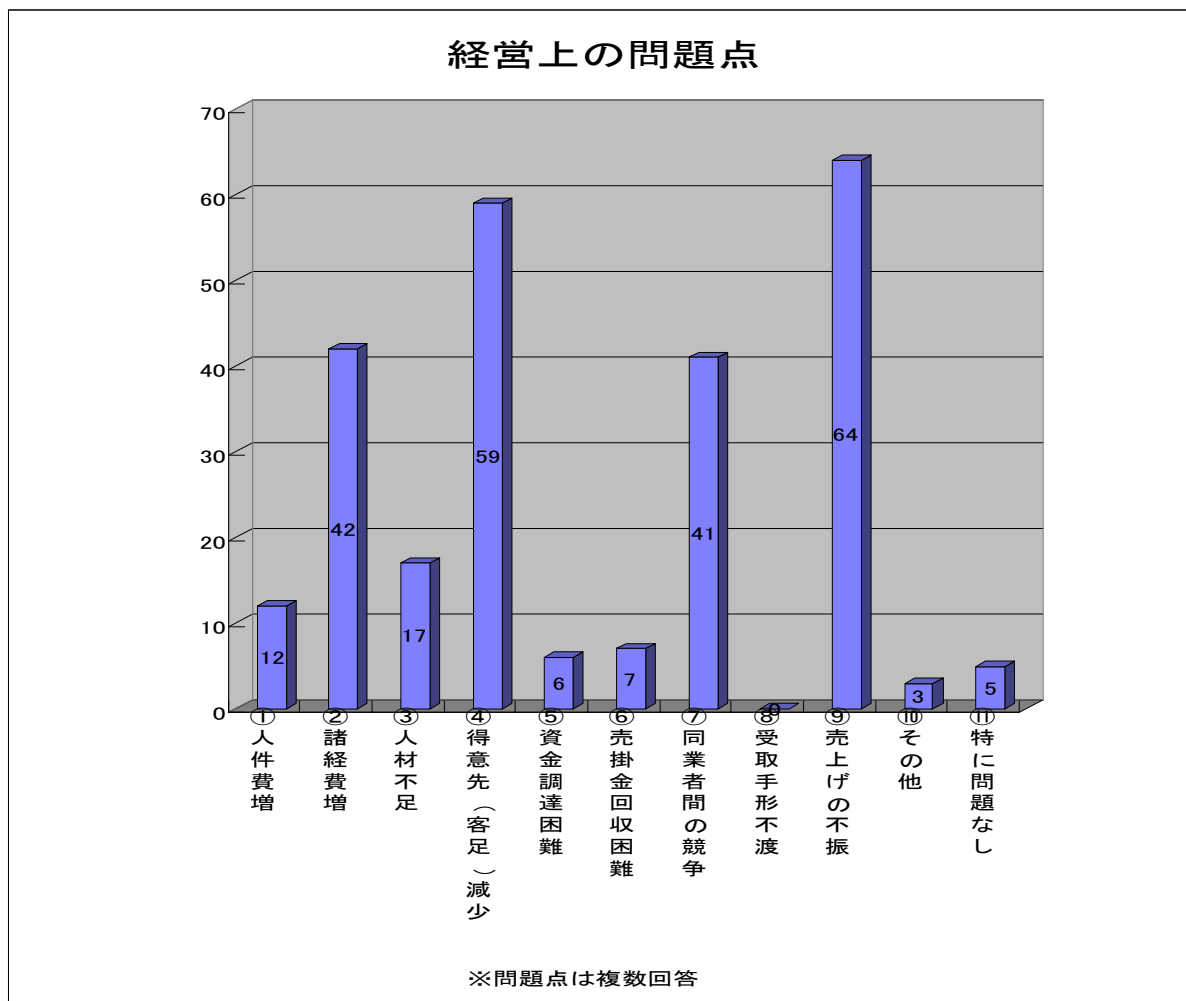


(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



(8) 今期の経営上の問題点（複数回答）



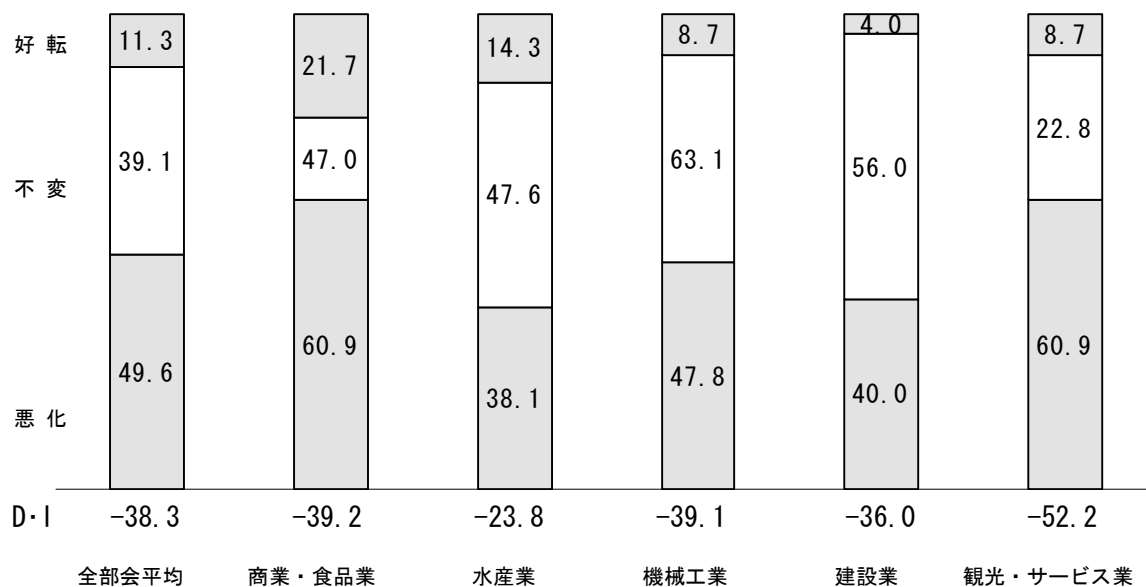
全 体	売上の不振 64 ポイント [前回 44 ポイント] 得意先（客足）減少 59 ポイント [前回 45 ポイント] 諸経費の増加 42 ポイント [前回 35 ポイント]
商業・食品業部会	得意先（客足）減少 18 ポイント [前回 14 ポイント] 売上の不振 15 ポイント [前回 12 ポイント] 同業者間の競争 9 ポイント [前回 5 ポイント]
水産業部会	諸経費増 15 ポイント [前回 13 ポイント] 人材不足 8 ポイント [前回 6 ポイント] 同業者間の競争 4 ポイント [前回 3 ポイント]
機械工業部会	売上の不振 13 ポイント [前回 10 ポイント] 得意先（客足）減少 11 ポイント [前回 7 ポイント] 諸経費の増加 8 ポイント [前回 4 ポイント]
建設業部会	同業者間の競争 16 ポイント [前回 11 ポイント] 売上の不振 19 ポイント [前回 11 ポイント] 得意先（客足）減少 13 ポイント [前回 10 ポイント]
観光サービス・諸業部会	売上の不振 16 ポイント [前回 7 ポイント] 得意先（客足）減少 15 ポイント [前回 11 ポイント] 諸経費増 9 ポイント [前回 6 ポイント]

3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成 17 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

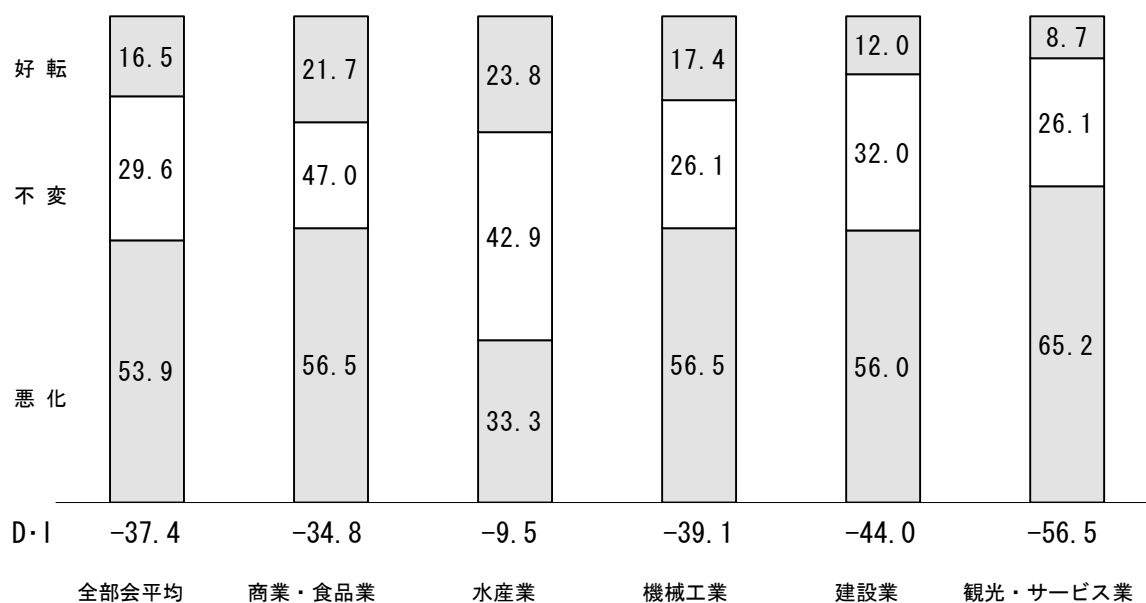


全業種平均で DI 値△38.3〔今期の業況（前年同期比△38.1）とほぼ横ばいの見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 17 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

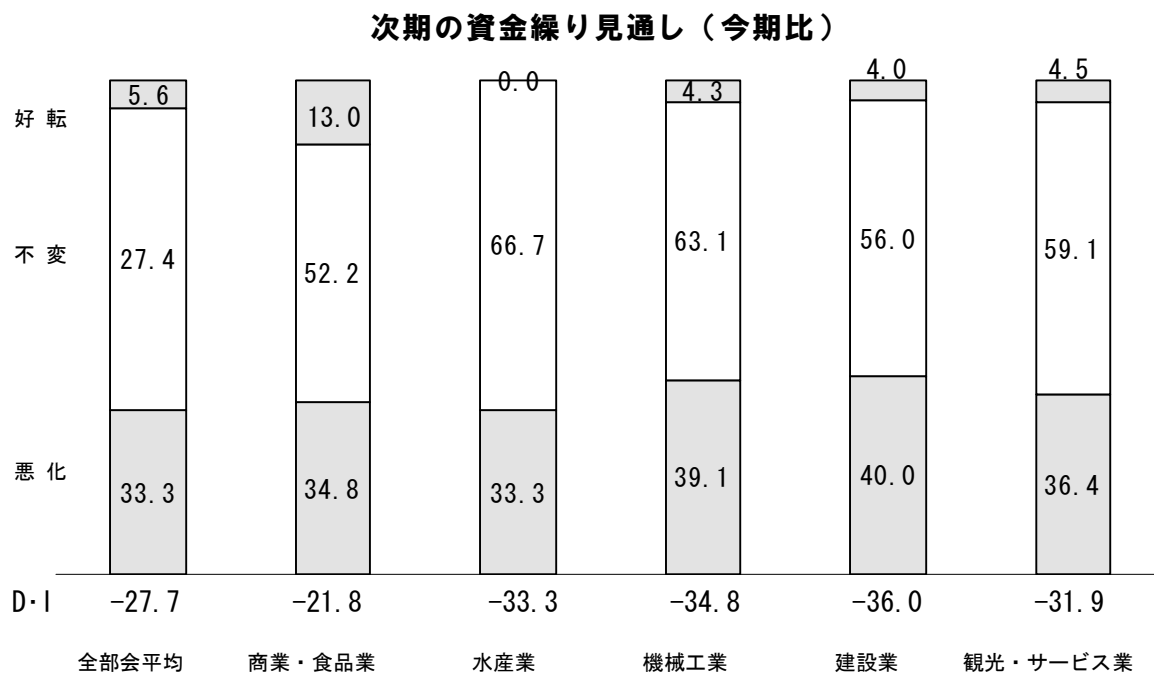
次期の売上高・生産高見通し（今期比）



全業種平均で DI 値△37.4〔今期の売上高・生産高（前年同期比△37.3）とほぼ横ばいの見通し〕

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 17 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均でDI 値 Δ 27.7〔今期の資金繰り（前年同期比 Δ 24.6）より3.1ポイント悪化の見通し〕

4. 各指標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 カ ー ビ 入 ・ 諸 業
業 況 判 断 D・I	今 期 実 績	△ 3 8 . 1	△ 5 6 . 5	0 . 0	△ 4 6 . 1	△ 4 4 . 0	△ 3 9 . 2
	来 期 見 通 し	△ 3 8 . 3	△ 3 9 . 2	△ 2 3 . 8	△ 3 9 . 1	△ 3 6 . 0	△ 5 2 . 2
売 上 D・I	今 期 実 績	△ 3 7 . 3	△ 5 2 . 2	2 3 . 8	△ 4 2 . 3	△ 5 6 . 0	△ 5 2 . 2
	来 期 見 通 し	△ 3 7 . 4	△ 3 4 . 8	△ 9 . 5	△ 3 9 . 1	△ 4 4 . 0	△ 5 6 . 5
在 庫 D・I	今 期 実 績	9 . 3	8 . 7	1 0 . 0	—	—	—
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今 期 実 績	△ 3 8 . 9	△ 5 2 . 2	△ 9 . 6	△ 3 0 . 8	△ 5 6 . 0	△ 4 3 . 5
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
資 金 繰 り D・I	今 期 実 績	△ 2 4 . 6	△ 3 4 . 8	9 . 5	△ 3 0 . 8	△ 2 8 . 0	△ 3 4 . 8
	来 期 見 通 し	△ 2 7 . 7	△ 2 1 . 8	△ 3 3 . 3	△ 3 4 . 8	△ 3 6 . 0	△ 3 1 . 9
金 融 機 関 貸 出 状 況 D・I	今 期 実 績	7 . 3	4 . 8	4 . 7	2 0 . 8	4 . 0	0 . 0
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
借 入 金 金 利 水 準 D・I	今 期 実 績	6 . 4	9 . 5	4 . 8	0 . 0	8 . 0	1 0 . 5
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—